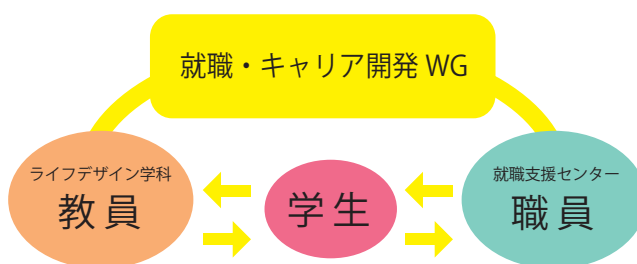


▶ 就職率 100%を支える独自の取り組み

ライフデザイン学科は2016年卒業生の就職率100%を達成しました。(就職者/就職希望者)。ここ3年間を振り返ってみても99%(2014年)、97%(2015年)と非常に高い数字で推移しています。この数字を可能にするのが、教職員、学生によるライフデザイン学科独自の取り組みです。

■ 学科独自の取り組み「就職・キャリア開発 WG」

ライフデザイン学科では、クラスアドバイザー(高校までの「担任」)が主となり1クラスあたり12~13名の学生をサポートしています。さらに、就職・キャリア開発WG(ワーキンググループ)を設置し、定期的に就職支援センターと情報交換の場を設けて、学生の就職活動や企業動向などを共有しています。このWGでは、就職活動に関する先輩の体験談や具体的な情報収集の仕方なども含め、さまざまな就職支援プログラムを行っています。さらに、本格的な就職活動を迎える前には就職支援センターが、スタッフとの個人面談を実施しています。また、クラスアドバイザーは受け持ちの学生全員と個人面談を行い、就職についての希望や本音を引き出しています。そして、これらの情報を就職・キャリア開発WGを通して互いに共有し、就職活動の支援に反映しています。教職員一体となった就職活動の厚い支援と多面的な情報共有こそが、ライフデザイン学科の高い就職率の源なのです。



■ 学生の自主的な取り組み「就活出陣式」



2016年2月、ライフデザイン学科では初の試みとなる「就活出陣式」を開催しました。これは、1人の学生の「本格的な就職活動を迎えるにあたって、ケジメとなるイベントを開催したい」という思いがきっかけとなりました。出陣式当日は、午前中、ウォーキングとメイクの講師を招き面接に向かう前の基本姿勢について学びました。午後からは、学外の就職支援センターからコーディネーターを招き、グループ面接・グループディスカッションの中で物おじせず自分をアピールする大切さについて学びました。最後は、出陣らしく参加者一人ひとりが陣太鼓とともに高らかに決意表明を行いました。その際に学生が述べた決意は、決意書として記され、今も学科のコモンズ横に掲示されています。就職活動に立ち向かう学生は、この決意書を見直すことで、士気を鼓舞させています。孤独になりがちな就職活動に仲間とともに立ち向かう姿勢こそが、高い就職率の原動力なのです。

